

# ウニ殻ランプ開発継承 高浜小35人



## 本年度プロジェクト開始 新商品も

高浜小児童と地元まちづくり団体が地域課題の解決を考える「コドモノ明日研究所」の本年度プロジェクトが8日スタートし、5年生35人が新たに加わった。卒業生が取り組んだウニの殻のランプ作りを引き継ぐほか、シンソを使つた新商品を開発する。

プロジェクトでは、昨年の5、6年生が国連の持続可能な開発目標(SDGs)を町の課題に置き換えた「高小SDGs」を発表。課題解決に向け、6年生が廃棄される赤ジソの茎や葉で染めたコースターなどを開発。5年生はムラサキウニの殻を使ったラン

プ「UNIKARA(うにから)」の新商品を完成させ、町内で販売した。

この日は同校で、まちづくり団体「高浜明日研究所(明日研)」メンバーと5、6年生が、今後の取り組みについて話し合つた。売り上げが好評だったウニランプは、改良を加えながら5年生が開発を続ける。染め物については、コースターにするか違う商品にするのか考えしていくことになった。

プロジェクトメンバーに加わった■さんは「高浜の魅力を町外に伝えられるような商品を考えるのが楽しみ」と話した。

6年生は、新商品開発のアイデアを秋に提案する。

「コドモノ明日研究所」の本年度プロジェクトがスター  
トし意気込む児童=8日、  
高浜小

(石川悠樹)